

▽ 里 麻奈美 准教授 SATO, Manami



所 属： 総合文化学部 英米言語文化学科
 担当科目： 言語学概論 I・II, 日英語比較研究,
 Pronunciation workshop, 日本語現代文法 I・II,
 基礎演習 III・IV(2年次), 専門演習 I・II(3年次),
 卒業論文 I・II

学歴等のプロフィール

- ① 【主要学歴】 ② 【学位】 ③ 【所属学会】 ④ 【主要な社会的活動】

<p>① 米国ハワイ大学大学院言語学科博士課程 修了 (Ph.D.) 米国ハワイ大学大学院言語学科修士課程 修了 (MA) 米国カリフォルニア大学バークレー校学士 (BA, graduated with honors)</p> <p>② 言語学博士 (Ph.D. in Linguistics)</p> <p>③ Cognitive Science, Linguistic Society of America</p>

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 学内での教育活動 1) 特別聴講生の受け入れ	2015年4月～2016年3月	京都学園大学より特別聴講生を1名受け入れた。
2. 学外での教育活動【講演】 1) カリフォルニア大学サンディエゴ校の講師	2011年4月20日	カリフォルニア大学サンディエゴ校にて「Does our mind generate thoughts or does our motion/body?」というタイトルの講演を行った。
2) ハワイ大学の講師	2011年9月27日	ハワイ大学にて「Can we experience emotional events through another person's eyes?」というタイトルの講演を行った。
3) ナンヤン工科大学の講師	2013年1月28日	ナンヤン工科大学において「Mental simulation in language understanding: How do we understand each other?」というタイトルの講演を行った。
4) シンガポール国立大学の講師	2013年3月4日	シンガポール国立大学にて「Interface between language processing and sociocultural cognition」というタイトルの講演を行った。
5) 民族博物館でのシンポジウムの講師	2014年12月21日	民族博物館にて「Language, thought, and brain in Mayan language」シンポジウムで講演を行った。

6) 慶応大学でのシンポジウムの講師	2015年1月10日	慶応大学にて「Language, thought, and brain in Mayan language」シンポジウムで講演を行った。
7) 広島大学でのコロキアムの講師	2015年2月19日	第99回広島大学かがみやま言語科学コロキウムにおいて「Language and thought: Evidence from mental simulation」というタイトルの講演を行った。
8) 金沢大学の講師	2015年3月4日	金沢大学において企画された「言語と認知」金沢認知科学シンポジウムで「言語理解と言語産出」というタイトルの講演を行った。
3. 学外での論文審査 (1) 名古屋大学大学院博士論文の審査委員	2014年12月26日	名古屋大学大学院・国際言語文化研究科にて博士論文の審査委員(副査)を務めた。
4. 学術論文の査読委員 (1) 心理学研究会 (2) 言語科学会	2015年4月～ 2015年4月～	心理学研究の査読委員を務めている。 言語科学会の査読委員を務めている。

研究業績等

【主要論文及び主要著書】

<p>【主要論文】</p> <p>Sato, M., Schafer, A., & Bergen, B. (2015). Metaphor priming in sentence production: Concrete pictures affect abstract language production. <i>Acta Psychologica</i>, p.136-142. DOI: 10.1016/j.actpsy.2014.09.010</p> <p>Sato, M., Schafer, A., & Bergen, B. (2013). One word at a time: Mental representations of object shape change incrementally during sentence processing. <i>Language and Cognition</i>, 5(4), p.345-373. DOI: 10.1515/langcog-2013-0022</p> <p>Sato, M., & Bergen, B. (2013). The case of the missing pronouns: does mentally simulated perspective play a functional role in the comprehension of person? <i>Cognition</i>, 127, p.361-374. DOI: 10.1016/j.cognition.2013.02.004.</p> <p>Luo, Y., Sato, M., & Sakai, H. (2013). Temporal distance between the cause and the effect affects the reading of causality sentences: Eye-tracking evidence. <i>The Technical Report of Language and Thought of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers</i>, p.139-144.</p> <p>Sato, M., Sakai, H., Wu, J., & Bergen, B. (2012). Towards a cognitive science of literary style: Perspective-taking in processing omniscient versus objective voice. In N. Miyake, D. Peebles, & R.P. Cooper (Eds.), <i>Proceedings of the 34th Annual Conference of the Cognitive Science Society</i>, Austin, TX: Cognitive Science Society, p.959-964.</p>
<p>【研究費実績】</p> <p>① 文部科学省科学研究費補助金 (1) 基盤研究 S「OS 言語の文処理メカニズムに関するフィールド言語認知脳科学的研究」(研究代表者: 東北大学 小泉政利)(2010-2014) (2) 基盤研究 A「OS 言語の談話処理メカニズムに関するフィールド心理言語学的研究」(研究代表者: 東北大学 小泉政利)(2015-2018)</p> <p>② 学術振興会組織的な若手研究者海外派遣プログラム (カリフォルニア大学サンディエゴ校認知科学学部にて客員研究員)</p> <p>③ National Science Foundation (NSF): Dissertation Research Improvement Grants</p>

(米国科学財団の博士論文執筆のためのリサーチグラント)

研究分野

言語学, 心理言語学, 認知言語学, ジェスチャー, フィールド心理言語学

【Eメール・ホームページ等】

m.sato@okiu.ac.jp

平成 27 年 4 月 12 日現在